

海外展開のススメ 海外挑戦編

交流が生むビジネスチャンス

とっとり国際ビジネスセンター

とっとり国際ビジネスセンターが海外展開の支援策などを伝える当コーナー。
今回は、韓国江^{カンウォン}原特別自治道・原^{ウォンジュ}州医療機器産業振興院との交流で生まれる
県内企業のビジネスチャンスについて紹介します。

当センターが所属する(公財)鳥取県産業振興機構(鳥取市若葉台、池田一彦・代表理事理事長)は、医療機器産業の集積地である江原特別自治道の原州^{キムヨンソン}医療機器産業振興院(金永成院長)と協定を締結し、韓国の医療・美容・ヘルスケア関連機器メーカーと県内製造業の交流を10年間続けています。

毎年、同振興院が支援する韓国企業を鳥取県に招き、県内企業との商談会や製造現場の視察を実施するとともに、同自治道原州市で開催される江原医療機器展示会「GMES」には、県内企業とともにブースを出展し、技術や製品をPRしています。

これまでに、美容機器や医療機器など幅広い分野で商談やマッチングが実現しました。

韓国はアジア有数の美容・ヘルスケア市場であり、医療・美容機器やヘルスケア製品の開発が盛んです。特に同特別自治道では医療機器産業を重点産業と位置付け、原州医療機器産業振興院が中心となって、ベンチャー企業などの関連企業を支援しています。

一方、鳥取県には金属加工や電気・機械分野など、高度な技術を持つ企業が集積しています。双方の強みを生かした交流を続ける中で、機器部品の共同開発や県内企業が提案した部品の美容機器への採用、韓国企業の日本市場向け代理店契約など、具体的な成果も生まれています。

こうした交流は、支援機関同士のつながりを企業間のビジネス交流へ発展させ、双方が「win-win」の関係で成長していくことを目指すものです。

「互いに生かし合うことから繁栄が生まれる」との故・松下幸之助氏の言葉にもあるように、継続的な交流を通じて相手を尊重し、互いの強みを生かすことが、事業の発展につながります。

当センターでは、これからも国内外のさまざまな地域・団体との交流を通じて、県内企業の海外展開を支援してまいります。



韓国の医療・美容関連企業と県内企業の商談会＝2026年6月、鳥取市